

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
プレーメン愛犬クリエイティブ専門学校	2008年1月16日	豊實 祐之	〒770-0021 徳島県徳島市佐古一番町5番4号 (電話) 088-652-5899																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人野上学園	2007年9月20日	野上 耕一	〒770-0021 徳島県徳島市佐古一番町5番4号 (電話) 088-652-5899																								
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
文化・教養	文化教養専門課程	ペットビジネス学科 総合コース		平成22年文部科学省 告示第30号	-																						
学科の目的	適切な知識と優れた技術を持った人材を育成し、動物業界全体の質向上と社会の発展に寄与する。																										
認定年月日	2014年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	2400時間	562時間	時間	1838時間	時間	時間																				
単位時間																											
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
70人	64人	-	6人	2人	8人																						
学期制度	■1学期:4月1日から8月1日 ■2学期:9月1日から12月31日 ■3学期:1月1日から3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各科目の受講時数が授業時間の3分の2以上出席し学科・実技試験で評価																						
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:7月20日から8月31日 ■冬季:12月20日から1月7日 ■学年末:3月31日			卒業・進級条件	卒業条件:各科目について出席時数が授業時数の3分の2に達しており、担当教員の成績評価を元に学校長が修了の認定をする。																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ■長期欠席者への指導等の対応 面談、自宅訪問等			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 動物愛護イベント、近隣清掃等のボランティア活動 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等 (平成28年度卒業生) トリミングサロン、動物病院、訓練施設、ペットショップ等 ■就職指導内容 履歴書添削、模擬面接、インターンシップ先の紹介等 ■卒業生数 34 人 ■就職希望者数 33 人 ■就職者数 32 人 ■就職率 : 97 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 94 % ■その他 ・進学者数: 1人 (平成28年度卒業者に関する 2017年5月1日時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C級グルーマー</td> <td>③</td> <td>33人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>B級プロフェッショナル ドッグシッター</td> <td>③</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>認定動物看護師</td> <td>③</td> <td>10名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>11名</td> <td>8名</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	C級グルーマー	③	33人	33人	B級プロフェッショナル ドッグシッター	③	9人	9人	認定動物看護師	③	10名	10名			11名	8名
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
C級グルーマー	③	33人	33人																								
B級プロフェッショナル ドッグシッター	③	9人	9人																								
認定動物看護師	③	10名	10名																								
		11名	8名																								
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成28年4月1日時点において、在学者64名 (平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者64名 (平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 長期間欠席者への面談。経済的支援として分割制度の拡充や学費の納付延納等。																										
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 一人暮らし支援奨学金 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有・無																										
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.tba.ac.jp/index.html">http://www.tba.ac.jp/index.html</a>																										

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

業界又は職種に相当年数携わり、実務に関する知識・技術について知見のある企業や施設等の管理者又は職員と連携し、講義及び実習を通じて自ら学ぶ意欲と実践力のある学生を育成することを目指す。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

学園理事会、監事、評議員会とは別に、独立して存在するものとする。教育課程編成委員会規則に基づき、会議を開催し、学生の育成に必要なカリキュラムやその他必要事項の取り決めを行う。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
野上 耕一	神戸ブレーメン動物専門学校 校長	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	
野上 和子	学校法人野上学園 理事	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	
中 徹	NPO法人日本社会福祉愛犬協会 理事	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	①
貴志 泰則	株式会社貴志商店 代表取締役社長	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	③
永木 ユミ子	ローズサマンサ 代表	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	③
小松 敏之	いぬのがっこうKOMATU 代表	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	③
軽部 真紀	かるべ動物病院 院長	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	③

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回以上の開催、時期は春季、秋季を基本とする

(開催日時)

第1回 平成28年4月5日 14:00～16:00

第2回 平成28年11月29日 14:00～16:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

委員会での提言をもとに、新たな設備の導入、カリキュラムの一部改変、新カリキュラムの導入などを行なっている

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

現場で使用される機材等の扱い方や、現場で必要とされる知識・技術の学習の為、経験豊富な技術者を講師として招き、また積極的に企業(動物病院、訓練施設、トリミング美容室、ペットショップ等)へのインターンシップをカリキュラムに導入する

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

専門知識が必要な機材の扱い方や、現場で求められる技術を学科・実習授業を通じて指導していただき、学生の実践力向上をはかる。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
グルーミング学 グルーミング実習	校内で行われている実習のステップアップとして、実際の現場で求められるスピードや技術を現役の講師によるモデルグルーミングの講義や、実習での直接指導で実践的な技術を習得する。	大床屋
犬種別バットクリップ ショークリップ	校内で行われている実習のステップアップとして、犬種別に適切なカットスタイルを実際の現場での経験をもとに、現役のトリマー講師によるデッサンの講義や、実習での直接指導で実践的な技術を習得する。	大床屋
ドッグトレーニング理論	校内で行われている実習のステップアップとして、実際の現場で求められるコミュニケーション能力、プログラムの組み立て方、保定技術を現役の講師による講義や、実習での直接指導で実践的な技術を習得する。	animal assist soleil
動物行動学	校内で行われている実習のステップアップとして、実際の現場で求められる観察力、行動シミュレーションを現役の講師による講義や、実習での直接指導で実践的な技術を習得する。	animal assist soleil
服従訓練 アジリティ	ドッグトレーニングを実践的に学び、具体的な行動修正法を習得する。またドッグスポーツであるアジリティ競技の基礎を学び、運動能力の向上を目指す。	animal assist soleil

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 教員各々の技術、知識向上のため、国内外を問わず、提携企業への研修、講師のセミナーを定期的に開催し、専門分野に関する展覧会・競技会への参加を積極的に行う。

(2) 研修等の実績  
 ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 ○ 海外、国外の展覧会・競技会への参加 ○ 動物愛護及び管理に関する法律に関連した研修会への参加  
 ② 指導力の修得・向上のための研修等  
 ○ フリーアナウンサー講師による、話し方セミナーの開催

(3) 研修等の計画  
 ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 ○ 提携する海外の大学(モアパークカレッジ/アメリカ)での研修、動物保護施設、動物病院、サロン視察  
 ② 指導力の修得・向上のための研修等  
 ○ 専修学校各種学校連合会主催の教職員セミナーへの参加 等

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針  
 学校自己評価基準に基づき、教職員の意見聴取及び学校施設等の視察を行い、学校が設定した評価項目の達成及び取り組み状況を点検する。また自己評価をもとに、その内容において分析・考察を行い、今後の課題と改善策を示し、教育活動・学校運営の質向上に役立てる。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学修成果
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況  
 評価結果は、学校関係者評価委員会において評価項目の達成度についての点検を行う。委員会での点検をもとに各事項についての分析・考察を行い、今後の課題と改善策を示した報告書を纏め、HP等で公開し、教育活動・学校運営の質向上をはかる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
貴志 泰則	株式会社貴志商店 代表取締役	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	企業役員
永木 ユミ子	ローズサマンサ オーナー	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	企業役員
矢野 章太	やの犬 訓練所 代表	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	卒業生
服部 有香	ブレーメン愛犬クリエイティブ専門学校 卒業生	平成28年4月1日～平成31年3月31日(3年間)	卒業生

平成29年7月31日現在

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
 (ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他( ) )  
 URL:<http://www.tba.ac.jp/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針  
 キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、企業等関係者に情報提供することで相互理解が促され、学校内外の実習、就職指導など企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につながる、との視点から情報提供を進めていく。また、情報提供等に当たっては、学生や保護者、関係業界等が求める情報の内容を十分把握し、求めに応じた情報を適切に示していくことに留意する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	(1) 学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	(2) 各学科等の教育
(3) 教職員	(3) 教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	(4) キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	(5) 様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	(6) 学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	(7) 学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	(8) 学校の財務
(9) 学校評価	(9) 学校評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法  
 URL:<http://www.tba.ac.jp/index.html>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ペットビジネス学科 総合コース) 平成29年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					単 位 数	講 義	演 習	実験・実習・実	校 内	校 外	専 任	
○			グルーミング学Ⅰ	犬・猫の抱き方・扱い方、シャンプー、カット方等、基本的なグルーミング法学科	1通	30	○			○		○	○	○
○			グルーミング実習Ⅰ	グルーミング学Ⅰを基に実習を行う	1通 2通	390				○	○		○	○
○			動物形態機能学	比較解剖学・血液学・免疫学・携帯機能等が含まれる	1通	150	○			○		○		
○			動物病理学	動物病理学に関する概論	1通	30	○			○		○		
○			動物疾病看護学	内科疾患・外科疾患・皮膚疾患・眼科疾患・歯科疾患等	1通	150	○			○		○		
○			動物薬理学	動物薬理学、薬物学	1通	30	○			○		○		
○			動物感染症学	内部寄生虫・外部寄生虫・微生物	1通	60	○			○		○		
○			病原体衛生管理	概論・ワクチン等	1通	30	○			○		○		
○			動物健康管理	飼育管理、日常のお手入れ	1前	15	○			○		○		
○			動物栄養学	栄養素・特別療法食・ペットフード市場	1	75	○			○		○		
○			動物医療関連法規	獣医師法・狂犬病予防法・動愛法・鳥獣保護法・薬物関連法規・家畜伝染病・予防法・その他関連法規	1通	30	○			○		○		
○			公衆衛生学	人獣共通感染症・滅菌・消毒・動物防疫学	1通	30	○			○		○		
○			動物繁殖学	概論、分娩・新生児、遺伝学	1後	15	○			○		○		
○			動物人間関係学	HAB、AAA、AAT、AAEなどの概論	1通	15	○			○		○		
○			動物行動学	犬学・猫学、行動の意義と機構、しつけ・トレーニング・問題行動	1通	60	○			○		○	○	○
○			動物福祉論	獣医療倫理、動物福祉	1通	30	○			○		○		
○			飼育管理学	エキゾチックアニマル、実験動物、産業動物、野生動物、展示動物	1通	60	○			○		○		
○			経営学・ビジネススキル	社会人として必要とされる経営・一般教養や就職活動に必要なスキルを習得する	1後 2前	30	○			○		○		
	○		犬種別ペットクリップ	各犬種に適したカットスタイルを学び、実習を通じてその形に仕上げる技術を習得する	1通 2通	240	△			○	○	○	○	○
○			動物飼育実習Ⅰ	コンパニオンアニマルの適切な飼育法、ドッグトレーニング	2通	45	△			○	○	○		

○		動物飼育実習Ⅱ	動物飼育に関する技術の実践と応用	2通	90	△	○	○	○			
○		グルーミング学Ⅱ	グルーミング技術の応用に関する法学科	2前	15	○		○		○	○	○
○		ボランティア学	動物愛護センターや民間保護団体を通じ動物のお手入れやしつけの活動を行う。また周辺地域の清掃活動を定期的に行い社会貢献の意味を学習する	2前	15	○		△		○		
○		犬種別ショーカットⅠ	各犬種のショーカットスタイルを学び、実習を通じてその形に仕上げる技術を習得する	2通	120	△		○	○		○	○
○		犬種別ショーカットⅡ	ブードルのショーカットスタイルを学び、実習を通じてその形に仕上げる技術を習得する	2通	150	△		○	○		○	○
○		ハンドリング学Ⅱ	ドッグショーにて必要なハンドリング技術を学び、マナー・ショーマンシップを身につける	2通	30	△		○	○		○	
○		ペット造形学・美学Ⅱ	ショー犬種のデッサンや、粘土を使った造形を通じてイメージ能力を養う	2通	30	△		○	○		○	
○		グルーミング実習Ⅱ	グルーミング学Ⅱを基に実習を行う	2通	375	△		○	○		○	○
○		動物看護学	看護概要論、動物の看護、終末期患者動物の看護	1前	15	○			○		○	
○		臨床動物看護学	内科疾患、外科疾患、皮膚疾患、眼科疾患、歯科疾患の看護	1通	90	○			○		○	
○		動物入院管理	ケア・看護計画、看護記録、治療・処置別による看護	1通	30	○			○		○	
○		幼齢動物・高齢動物管理	哺育、在宅・訪問管理	1通	30	○			○		○	
○		動物臨床検査学	検体検査・生体検査	2通	30	○		△	○		○	○
○		救急救命対応	エマージェンシー、救急救命疾患	2前	15	○		△	○		○	○
○		クライアントエデュケーション	疾病予防、避妊去勢、健康管理、衛生管理指導	2通	30	○		△	○		○	○
○		院内コミュニケーション	受付・クライアントコミュニケーション、スタッフコミュニケーション	2通	75	○		△	○		○	○
○		動物看護実習Ⅰ	診療補助、輸液管理、主な処置法、シリンジの扱い、衛生管理・調剤	2通	90	△		○	○		○	○
○		動物看護実習Ⅱ	看護技術の実践と応用	2通	135	△		○	○		○	○
○		動物臨床検査実習Ⅰ	検体処理、検査機器の取扱い、血液検査、尿検査、便検査、細胞診、微生物学的検査、レントゲン、超音波、ECG等	2通	90	△		○	○		○	○
○		動物臨床検査実習Ⅱ	検査技術の実践と応用	2通	135	△		○	○		○	○
○		外科動物看護実習Ⅰ	手術関連業務、術前術後の看護、麻酔・鎮静、麻酔モニタリング	2通	45	△		○	○		○	○
○		外科動物看護実習Ⅱ	外科に関する技術の実践と応用	2通	45	△		○	○		○	○
○		総合臨床実習	動物病院実習	2通	135	△		○	○		○	○
○		ドッグトレーニング理論Ⅰ	ヒトと犬が共生していくに必要な方法を習得する。また動物行動学をもとに具体的なトレーニング方法の組み立て方を学ぶ。	1通	30	○			○		○	○
○		服従訓練Ⅰ	ドッグトレーニングを実践的に学び、具体的な行動修正方を習得する。	1通	90	△		○	○		○	○
○		アジリティⅠ	ドッグスポーツであるアジリティ競技の基礎を学び、運動能力の向上を目指す。	1通	45	△		○	○		○	○
○		ドッグトレーニング理論Ⅱ	ドッグトレーニング理論Ⅰの応用	2通	60	○			○		○	○
○		服従訓練Ⅱ	服従訓練Ⅰの応用	2通	330	△		○	○		○	
○		アジリティⅡ	アジリティⅠの応用	2通	75	△		○	○		○	
○		総合トレーニング実習Ⅰ	トレーニングの組み立てからクライアント教育までを総合的に組み立て、実践する	2通	180	△		○	○		○	
○		総合トレーニング実習Ⅱ	総合トレーニング実習Ⅰの応用	2通	180	△		○	○		○	
合計				53科目	2400単位時間( 単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業条件：各科目について出席時数が授業時数の3分の2に達しており、担当教員の成績評価を元に学校長が修了の認定をする。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	15週